

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月29日

上場会社名 株式会社 極洋  
(URL <http://www.kyokuyo.co.jp/>)

(コード番号：1301 東証・大証第1部)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 二村 雄三  
問合せ先責任者 役職名 企画部長  
氏名 石井 康広 (TEL：03-5545-0703)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

## 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 売上高及び経常利益

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

|             | 売上高           | 経常利益       |
|-------------|---------------|------------|
| 16年3月期第1四半期 | 百万円<br>38,063 | 百万円<br>853 |
| 15年3月期第1四半期 |               |            |
| (参考)15年3月期  | 162,773       | 3,314      |

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期実績については記載しておりません。

水産商事部門においては、南北凍魚・かに・たこなどの搬入量の減少、鮪赤身商品の低価格化、加工品の海外生産への移行、魚の表示問題などの影響を受け売上高は予想を下回っておりますが、海外生産品の取扱いを増やすことにより利益は予想通りとなっております。

加工食品部門においては、主要製品の価格競争、中国冷凍野菜の農薬問題など厳しい環境の中、冷凍食品は調理品・切身類・寿し種製品をはじめとする海外加工品を中心に販売が伸びたほか、缶詰はくじら、いわしなどの魚介缶の販売が好調であり、売上、利益とも順調に推移しております。

漁撈部門においては、全般にかつお魚価が弱含みであったため売上高、利益共に低迷しておりますが、7月からは東沖操業も本格化し、魚価も上昇し売上高も回復傾向となっております。

物流サービス及びその他の部門については概ね当初予想通りであります。

### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

## 3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

業績は概ね予想通りに推移しており、業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上